

科目名	ビジネスプラン作成法 The Method of Business Planning		必修	2 単位
学期・曜日・時限	春・火・3 限	春・火・5 限	秋・火・3 限	秋・火・5 限
担当教員名	岸田 伸幸			
<p><講義の概要と目的></p> <p>本講座では主としてビジネスプランニングの考え方と実務的スキルを学ぶ。ビジネスプラン作成法の習得は本学の主要な修了要件の一つである。また、ビジネスプランの作成ノウハウは独立起業家や社内企業家にとって必須だけでなく、経営スタッフ業務や投資関連業務にも有用といえる。</p> <p>本講座ではアイデアワークの個人演習、課題に基づくビジネスモデリングのグループ演習、そして、オリジナル事業構想に基づくビジネスプランニング演習と、段階的にノウハウ習得を達成する。</p> <p>また、ビジネスプランのサンプルやテンプレートも用いた現物学習を取り入れ、実務力向上を図る。</p>				
<p><講義計画></p> <p>第1週：「ビジネスプラン」とは</p> <p>本講座の進め方について説明する。起業家活動におけるビジネスプランニングを論じ、一般的な経営計画や事業予算管理との異同を明確にする。履修者の自己紹介と抱負スピーチを行う。</p> <p>第2週：事業構想力の理論</p> <p>事業構想力の概念とビジネスプランとの関係をマネジメントサイクルとして論じ、ビジネスプランニング活動を理解する。新事業構想を創出する手段としての各種創造思考技法を学ぶ。</p> <p>第3週：事業創造の論理と方法企業</p> <p>アイデアワーク課題解説。アイデアワーク技法演習を通じ、ビジネスにおける創造性について理解する。演習成果に基づくクラス討議を行い、技法の正しい適用と事業への適切な展開方法とを学ぶ。</p> <p>第4週：ミッション・経営ビジョン・会社理念</p> <p>ビジネスプランニング上の形而上的・定性的要素の重要性を理解する。有力企業の経営理念を題材にグループ討議を行い、理解を深める。自分自身の経営哲学のあり方について考える。</p> <p>第5週：ビジネスモデルのデザイン理論</p> <p>ビジネスモデルのデザインや分析に使えるオープンソース技法ビジネスモデルキャンバスを学ぶ。課題に基づくビジネスモデルをデザインのグループワークについて説明する。</p> <p>第6週：ビジネスモデルのデザイン演習</p> <p>課題に基づくビジネスモデルデザインのグループ演習を行う。次週中間発表に向け作業を進める。</p> <p>第7週：ビジネスモデルのデザインのグループ演習中間発表</p> <p>課題に基づくビジネスモデルデザインのグループ演習成果を発表する。最終発表課題を提示する。</p> <p>第8週：中小機構「企業情報開示マニュアル」を学ぶ</p> <p>汎用的な事業計画書の典型として、中小機構「企業情報開示マニュアル」を学習する。</p> <p>第9週：総務省「ICTVB 事業計画テンプレート」から学ぶ（1）</p> <p>総務省「ICTVB 事業計画テンプレート」の概要と利用上の留意点を説明する。</p> <p>第10週：総務省「ICTVB 事業計画テンプレート」から学ぶ（2）</p> <p>同上第2・3章を中心に、ICT系ベンチャー企業のビジネスプランニングのポイントを学習する。</p> <p>第11週：売上計画の作成方法</p> <p>業種特性に応じた、合理性、説得性、実現性のある売上計画の作成方法について学習する。</p>				

第12週：ビジネスプランに於ける数値計画（1）

事業計画書に不可欠な投資／財務計画、キャッシュフロー予測、資金繰り表について学習する。

第13週：ビジネスプランに於ける数値計画（2）

投資家の評価基準を意識した数値計画立案を学ぶ。プロジェクト評価、資本政策、投資採算評価。

第14週：グループ演習最終成果発表会（1）

全チームを2組に分け、前半グループの演習成果である、ビジネスプランのプレゼンテーションを行う。各チームの発表に基づき質疑応答を行う。履修者数が少ない場合は、第14週はグループ演習の集中作業日とし、全グループの発表を第15週に行う。

第15週：グループ演習最終成果発表会（2）

グループ演習の成果である、ビジネスプランのプレゼンテーションを行う。各チームの発表に基づき質疑応答を行う。全体の講評を行い、本講座全体をまとめる。

<講義の進め方>

第3週までは教科書・参考書に基づく講義と、配布教材を利用した個人演習を中心に進める。第4週以降、グループワークとクラス討議の単位となる演習グループを編成し授業を進める。グループ毎にビジネスモデルデザインの中間発表、および事業計画プレゼンテーションの最終発表を課す。

<教科書及び教材>

下記教科書ほか随時所要の教材・参考資料を、プリント、電子ファイル等で配布する。

- ・グロービス経営大学院『新版グロービス MBA ビジネスプラン』ダイヤモンド社（2010）

<参考書>

- ・A・オスターワイルダー／Y・ピニユール『ビジネスモデル・ジェネレーション』翔泳社（2012）
- ・A・オスターワイルダーほか『バリュー・プロポジション・デザイン』翔泳社（2015）
- ・A・マウリア『RUNNING REAN 実践リールスタートアップ』オーム社（2012）
- ・E・リース『リーン・スタートアップ』日経BP社（2012）
- ・黒須誠治・三原康司『偉大な発明に学ぶアイデアのつくり方』日経BP社（2016）
- ・竹内裕明『利益を生み出す「売上計画」達成のシナリオ』かんき出版（2010）
- ・ドリームゲート編『マネして完成！ 事業計画書』技術評論社（2014）

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。小課題・クラス貢献30%、中間レポート20%、グループ発表25%、期末レポート25%の割合で評価する。

<履修条件> 特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー> 火曜4限、6限

<その他>

次回分の教科書章・参考書を予習し、webなどで情報収集しておくこと。グループ発表への積極的参加とクラス討議のための事前準備を推奨する。適宜、小レポートを課すことがある。ゲスト日程都合等で日程変更することがある。なお、初回は履修者全員に自己紹介と抱負のスピーチを求める。